

（件名）中国で人気の日本のアニメやドラマについて

- ・昨年 11 月以降、日中関係の緊迫化により中国では日本映画の公開延期や上映期間が短縮となるケースが生じ、また、日本映画関連イベントが開催見送りになるなどの影響が見られました。一方で、日本のアニメ、ドラマ、映画作品などのコンテンツに対しては今もなお好意的な評価が聞かれ、そのニーズには大きな変動がないと感じられます。
- ・アニメ作品ではワンピース、名探偵コナン、クレヨンしんちゃんなど、多くの作品が幅広い年代で親しまれています。上海市内にあるグッズ販売店やカフェでは、一部では現在でも週末になると行列ができるほどのファンが集まる姿も見られます。
- ・実写映画・ドラマでは、恋愛、家族愛、ミステリーなどの様々なジャンルの作品が注目されてきましたが、近年は孤独のグルメや深夜食堂などのグルメ系作品が安定した人気を集めています。その人気にあやかり、上海市内の飲食店では、作品名をそのまま看板に掲げる店や、作中に日本の系列店が登場したことを訴求するポップを掲げる店が見られるなど、作品の人気の高さをうかがい知ることができます。



上海市内の飲食店で見られる看板やポップ

（件名）飲食店での道産品輸出用シンボルマークの活用について

- ・中国国内で約 50 店舗展開している居酒屋チェーン店が、この度、道産品輸出用シンボルマークの使用を開始しました。同チェーン店では以前から道産日本酒を取り扱いしており、今回、北海道産のブランド品としての認知拡大のため、シンボルマークの活用に至りました。
- ・3 月 26 日、成都市にある同居酒屋店舗で道産日本酒の試飲会（酒類輸入・販売企業主催）が行われるのにあわせ、店舗運営企業に対し、道産品輸出用シンボルマークの盾を授与しました。
- ・試飲会当日は日本酒メーカーの役員が会場入りし、飲み方や商品の特徴などについてレクチャーが行われました。焼き鳥、刺身などそれぞれの食材を引き立てる商品が用意され、商品開発エピソード、パッケージやロゴデザインの細部にまで込められた創意工夫について解説があり来場者の高い関心を集めました。
- ・来場した中国の食品メーカー関係者からは、食材と日本酒の組み合わせや口にする順番により味わいが大きく変わることに驚きの声が聞かれ、商品の奥深さを体感できる良い機会となりました。
- ・道産日本酒は同店の人気商品の一つで、年間を通して安定した需要がありますが、シンボルマークの活用によりブランド価値の向上や消費量の増加が期待されるようです。



試飲用の道産日本酒



シンボルマークの盾を授与



道産メニューにマークを表示